

むらかみ

市議会だより



第3号

平成20年11月15日発行



守り継ぐ宝「塩谷大祭」 — 神林地区 —

私たちには、先祖代々受け継がれてきた大切な「伝統」・「文化」・「しきたり」があります。「祭り」もその一つです。

都会では「祭り」が「商業祭」に様変わりした感もありますが、この新・村上市圏域には数百年前と変わらない「お祭禮」が、各地区にしっかりと残されています。

私たちは、大漁豊作、商売繁盛、家内安全、無病息災など、地域住民の祈願や感謝が込められた「宝」を守っていかなければなりません。

主な内容

- 提出議案の概要と審査結果 …………… 2～3
- 請願・陳情審査結果 …………… 3
- 委員会審査報告 …………… 4～6
- 決算審査特別委員会審査報告 …………… 7～8
- 討論 …………… 9～10
- 意見書の提出 …………… 10
- 一般質問 …………… 11～19
- 議会の動き・編集後記 …………… 20

平成20年第2回 定例会

平成20年第2回定例会が9月1日から26日まで、26日間の会期で行われました。

初日には、副市長の選任が行われ、鈴木源左衛門氏を選任されました。また、市長から提出議案の説明があり、議員発議により「決算審査特別委員会」が設置され、11日から16日までのうち3日間に行われ、平成19年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算審査を行いました。

5日及び8日から10日の4日間において、市政に対する一般質問が行われ、20名の議員が登壇しました。17日から22日には、各常任委員会が開催され、付託された議案、補正予算案及び請願等についての審査が行われました。

最終日には、各常任委員長及び決算審査特別委員長からの審査結果報告があり、採決の結果、市長提案69件、議会側提案の請願2件、議員発議8件を可決、1件を否決し、閉会しました。

議案の審査結果

◆議員提出

●決算審査特別委員会の設置について

平成19年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定のため特別委員会を設置。

互選の結果、委員長に姫路

敏議員、副委員長に齋藤信一郎議員を選任。

●決算審査特別委員《敬称略》

小杉 和也 本間 清人
相馬 エイ 長谷川 孝

富樫宇栄一 川村 敏晴

小野七五三 瀬賀 秀雄

鈴木いせ子 板垣千代子

大滝 久志 大滝 国吉

齋藤信一郎 姫路 敏

◆人事関係

●副市長の選任

鈴木源左衛門氏（高根）の選任に同意。

●人権擁護委員の推薦

細野忠行氏（瀬波中町）、小川三工氏（佐々木）、和田勝義氏（下鍛冶屋）の選任に同意。

◆主な条例関係

●村上市公益法人等への職員
の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について

法律の改正に伴い、条例の一部を改正する。

●村上市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

法律の改正に伴い、条例の一部を改正する。

●村上市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例制定について

法律の改正に伴い、条例の一部を改正する。

◆その他

●岩船地域土地開発公社定款の一部改正について

公有地の拡大の推進に関する法律の規定により、岩船地域土地開発公社定款の一部を改正する定款を定める。

●村上市辺地に係る総合整備計画の策定について

村上市辺地に係る総合整備計画の策定のため、法の規定により、辺地計画を策定。

●市道路線の認定について

市道5路線の認定。

●市道路線の変更について

市道2路線の変更。

●町の区域及び名称の変更に
ついて

緑町1丁目及び5丁目における区域及び名称の変更。

◆報告関係

平成20年度イコボヤの里開

5議案が提案され、そのうち、副市長の定数を1人とする「村上市副市長定数条例制定について」、「消防用ポンプ自動車等消防物品の購入契約の締結について」及び「山北地区情報通信基盤整備事業ネットワークシステム整備工事の工事請負契約の締結について」は全会一致で原案のとおり可決されました。

また、「(仮称) 神林西統合保育園建築工事の工事請負契約の締結について」及び「村上市公共下水道村上浄化センター水処理施設増設工事委託に関する協定の締結について」は、賛成多数で原案のとおり可決されました。

発公社事業計画及び平成19年度イコボヤの里開発公社決算の報告について
 ・平成20年度山北町産業振興公社事業計画及び平成19年度山北町産業振興公社決算の報告について
 ・専決処分報告(損害賠償)について

平成20年第2回臨時会
 8月8日招集

請願の審査結果

件名	請願者	紹介議員の氏名	付託委員会	審査結果
『30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の拡充』を求める請願	新潟県教職員組合村上市岩船郡支部 執行委員長 大滝 英俊	滝沢 武司	厚生文教 常任委員会	採 択
『後期高齢者医療制度の廃止』を求める請願	連合新潟村上地域高齢者協議会 会 長 伊藤 一	滝沢 武司	厚生文教 常任委員会	採 択

陳情の審査結果

件名	陳情者	所属委員会	審査結果
子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、公費(私学助成)の増額・拡充を求める意見書の採択に関する陳情	新潟県私学の公費助成をすすめる会 会 長 宮下 弘治	厚生文教常任委員会	願意了承し 意見書を提出
「協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情	「協同労働の協同組合」法制化をめざす 市民会議新潟 代 表 川名 俊博	市民経済常任委員会	願意了承し 意見書を提出

市議会のしくみ……………予算・条例などの議案は下記のようにして決定されます。

本会議 (提案理由説明)



本会議は、全議員で構成される会議です。全議員で議案や請願などを審議します。

委員会



委員会は、選任された委員で構成し、4常任委員会あり、必要に応じて特別委員会が設置されます。本会議からの議案を受けて各委員会で専門的に、かつ慎重に審査します。
 委員会の最終的な意思は、多数決で決定します。

本会議 (採決)



各委員会での結果報告を受けて、賛成反対の討論を行い、議会の最終的な意思を多数決で決定します。

委員会の審査報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

◎は委員長 ○は副委員長

総務

常任委員会

◎大滝 久志 ○小池 晃
 滝沢 武司 岩倉 幸治
 瀬賀 秀雄 小野七五三
 石嶋 修平 佐藤 宮吉

◆議第66号 村上市辺地に係る総合整備計画の策定について

問 過疎対策法と辺地総合整備計画との関連は。

答 辺地総合整備計画は、地域間格差をなくすため、公共施設等の整備に対して特別な財政支援をする法律である。過疎対策法は、過疎を脱却するという大きな観点で、どのような事業を展開したらよいかを計画するものである。

問 辺地で生活をするのは大変だが、地域の度合は点数で表しているのか。

答 一定の基準があり、辺地度数のトータルで百点を超える地域が、辺地の該当となる。市全体では45集落あり、そのうち13集落をこの事業により整備するものである。

問 この事業により、携帯電話の不感地帯が解消されるのか。

答 山北地区はこの事業により解消されるが、村上地区では大栗田集落のみ未解消のままである。

問 市道葛平線の改良工事は今年度で完成するのか。

答 平成20年度、21年度の2力年で完成予定。

◆議第67号 村上市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 公益法人等と公益的法人等との違いは何か。

答 法の改正により、新たな法によって5年以内に認定を受けたものを「公益法人等」とし、受けなかったものを「公益的法人」とするものである。



移動通信用鉄塔施設

◆議第68号 村上市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 根拠となる法律はいつ公布になったのか。

答 平成20年6月11日公布となり、9月18日より施行となる。

◆議第69号 村上市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例制定について

問 村上市認可地縁団体は現在いくつあるのか。

答 平成20年3月31日現在275町内のうち、123団体あり、組織率は44.7%となっている。

20年度一般会計補正予算

問 弁償金が208万円と高

(歳入)

額になっているが。
答 例年だとバイクのナンバープレート紛失等の軽微なものであったが、今回は消火栓2基の破損によるもので高額となった。

問 日治道における救急車退出路の分担割合は。

答 村上市64%、胎内市30%、関川村6%である。

問 越後杉ブランド安定供給モデル事業の内容は。

答 事業実施団体は山北森林組合、作業路・再造林は若船森林組合となっている。

・消防費
(歳出)

問 日治道において、救急車退出路の場所はどの辺りか。

答 新発田インターの少し手前で、加治川を渡ってすぐの所である。

20年度特別会計補正予算

・情報通信事業特別会計

問 山北地区の総事業費はいくらか。

答 10億1千6百万円ほどになる。

問 神林地区情報通信事業を

平成21年度に実施する計画を立て、予算付けをすることはできないか。

答 現時点において来年度の予算付けはできない。

問 神林地区の現在の施設を利用すると、維持管理費が安く、ネットワークも構築できる。市長の「情報格差はつく

らない」とする方針からも実施すべきでは。

答 市では、地域情報格差を是正するため、「地域情報化基本計画策定委員会」において検討しており、それに従い実行していきたい。

以上を中心に審査しました。

市民経済

常任委員会

- ◎中山 悌一 ○大滝 国吉
- 鈴木いせ子 板垣 栄一
- 山田 昭夫 齋藤信一郎
- 三田 敏秋 山田 勉

20年度一般会計補正予算

・総務費

問 収納推進員を10月から1名増員とするようだが、いま現在何名おり、今後の体制についてはどうか。

答 収納推進員は、現在3名の体制で行っており、荒川地区・神林地区の担当が1名、村上地区の担当が1名、朝日地区を1名が担当している。

このたび増員される1名については、山北地区を担当していただく。もう1名増員できれば、各地区1名ずつ配属することができるので、今後検討していきたい。

問 村上地区は徴収件数も膨大なものと思うが、その辺は考慮しているのか。

答 将来的には、各地区の担当者が1名では足りないと考ええる。来年度に向けて、滞納世帯数による収納推進員の増員を考えていきたい。

問 収納推進員での収納目標は考えているのか。

答 収納推進員3名で5千万円としているが、現在6千万円くらいになると思う。1名で2千万円くらい積算できるのではないか。

問 朝日地区では、収納方法

が昨年度までの「納税組合制度」から、今年度「口座振替制度」に変わったが、収納率はどうか。

答 約7割の方が、口座振替制度へ変更したが収納率は落ちている。今後、もう少し丁寧に、口座振替制度への変更をお願いしていく。

・農林水産業費

問 農業振興経費の小規模農家等集落営農支援事業補助金、稲作農家経営強化対策事業補助金、県農林水産業総合振興事業費補助金の対象は。

答 小規模農家等集落営農支援事業とは、県費による朝日中野集落における集落営農支援である。また、稲作農家経営強化対策事業では、県費で大須戸集落の農業法人による園芸導入新規事業に対する補助である。

県農林水産業総合振興事業では県単の第2次配分で神林地区での機械導入である。

・商工費

問 瀬波観光案内物産センターの指定管理料とあるが何か。

答 案内施設のドアや、トイレ

の窓ガラス等の破損修理費である。破損修理費は、指定管理契約において2分の1を支払うこととなっているものである。

問 温泉の検査は、通常何種類の検査が必要なのか。また、検査の年数は何年ごとか。

答 メタンガスの検査については、今年10月1日から義務付けられたものであり、その他の検査については、源泉が10年に1度、日帰りの入浴場については、4項目の検査(大腸菌やレジオネラ菌など)があり、これについては毎年検査をすることになっている。

以上を中心に審査しました。



日帰り入浴施設 (朝日まほろばふれあいセンター)

厚生文教

常任委員会

- ◎川崎 健二 ○川村 敏晴
- 板垣千代子 小杉 和也
- 長谷川 孝 小林 重平
- 相馬 エイ

20年度一般会計補正予算

・民生費

問 社会福祉費で数字の間違いがあつたが、どのようなものか。

答 地域介護・福祉整備事業等補助金が、特定財源として財源内訳に1千5百万円計上すべきところが、計上がされていないかつたため。

・土木費

問 パルパーク神林総合運動公園の工事請負費について、作業門扉を新しくすることだが、プールの工事を行わない分を充当するのか。また、門扉の総額はいくらか。

答 その通りである。門扉の予定価格は、作業門扉・入場門扉の合計で578万円。内

訳は、入場門扉137万円、作業門扉441万円である。

・教育費

問 費用弁償が多いが、なぜ今回出てきたのか。

答 合併時の混乱における漏れの部分である。

20年度 特別会計補正予算

・国民健康保険特別会計

問 病床転換支援金等事業の病床転換という言葉は、あまり聞き慣れない言葉だが。

答 医療法改正があり療養病床を転換し、長期入院のものから在宅介護や老人保健施設へ病床を転換するものである。費用の一部を各保険者が、加入数に応じて払うものである。

・国民健康保険診療所特別会計

問 賃金の計上漏れは計算間違いか。

答 診療所では用務員に早朝から来てもらい、時間単位でお願いしている。4月～6月の計上が漏れていた。

・老人保健特別会計

問 レセプト(診療報酬請求明細書)件数について予想より大勢の人が受診したという事だが、予想はどのくらいか。

答 2万5千428件、2ヵ月分の受診を見込んでいた。

・介護保険特別会計

問 9月補正後の介護保険給付等準備基金繰入金の高はいくらか。

答 8月31日で1億5千376万円ほどある。補正で9千350万円を加えると、2億4千730万円となる見込み。以上を中心に審査しました。



国民健康保険診療所(支部)

建設企業

常任委員会

- ◎小田 信人 ○平山 耕
- 本間 清人 姫路 敏
- 富樫宇栄一 板垣 一徳
- 木村 貞雄

20年度 一般会計補正予算

・土木費

問 土木総務職員人件費について、当初予算が50万円この度の補正が130万円と増額になった理由は。

答 当初予算編成については、合併後に本庁と支所で事務調整を行った結果、本庁に事務量が集中したものである。

問 道路橋りょう一般管理費で、道路照明の補正が174万円と高額なのはなぜか。

答 これも合併協議会での予算組したものをそのまま当初予算に計上したので、実績として不足が生じたものである。

問 下水道維持管理費のフェンス交換について、詳細は。

答 着町裏手にある下水路に昭和53年頃設置されたもので、

30年経過しフェンスが損傷している。市街地でもあることから転落防止のため交換をするものである。

問 ほかにそのような場所はるか。

答 都市下水路事業において、このほか大欠と松山にあるが、いずれも農道の脇である。



交換予定のフェンス(着町)

問 除雪対策費の中で機械借上げ料3台分が計上されているが、期間はどのくらいか。

答 12月から翌年3月までの4カ月間である。

問 合併による除雪区域の変更はないのか。

答 非常事態のときは考えなければならぬが、通常は旧

市町村単位で行うことになる。

問 除雪経費において、少雪だった場合の待機料について、今年度計画はどうか。

答 旧村上市のやり方で検討しているが、はっきりとした方針は決定していない。

問 除雪経費の料金が旧村上市に準ずるとなった場合、全体的にプラスになるのかマイナスになるのか。

答 旧村上市の場合、県の標準単価で行っていた。各町村も同等であると伺っている。

・災害復旧費

問 市道法面の修繕に要する経費が計上されているが、もし民家などがあり、法面の崩壊とともに影響が出た場合、行政に責任はないか。

答 原因が市の管理不足にあるのか、災害の状況などにより、ケースバイケースで対応が異なってくるものと考ええる。

◆議第70号 市道路線の認定について

◆議第71号 市道路線の変更について

以上を中心に審査しました。

決算審査特別委員会審査報告

旧市町村及び旧岩船地域広域事務組合の平成19年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算認定について、決算審査特別委員会により、3日間にわたって審査が行われた。

◆旧村上市決算認定（10議案）

〈一般会計歳入歳出決算〉

（歳入）

問 固定資産税の滞納繰越分は、どのように回収するのか。

答 最初に文書催告を行い、反応がない場合は電話催告、滞納処分を計画して執行する。

問 徴収猶予を行うことはないか。

答 徴収猶予には税法上の条件を満たす必要がある、今まで行った事はない。

（歳出）

問 平成19年度の生活保護申請者・受給者は何人か。

答 申請者21人中、18人が受給した。

問 教育費の小学校外壁工事費削減理由は。

答 村上南小学校の外壁工事を5力年計画の中に組替えたため、19年度は見送った。

〈特別会計歳入歳出決算〉

問 国民健康保険税での差し押え件数

と、金額はいくらか。

答 市税全体で118件、約4千7百70万円で、国民健康保険税分は38件、約240万円である。

問 収納推進員が行った徴収実績は。

答 19年度は2名で、約3千8百万円の徴収があった。そのうち半額位は訪問徴収である。

問 老人保健特別会計は、後期高齢者医療制度が確立されると廃止されるが、いつまで続くのか。

答 平成23年度まで続けられることになっている。

〈上下水道事業会計決算〉

問 上下水道事業会計の配水量の有収率が他町村に比べて高い理由は。

答 下水道工事と同時に上水道の配管交換工事を行っており、漏水が少ないためと考える。

◆旧荒川町決算認定（8議案）

〈一般会計歳入歳出決算〉

（歳入）

問 町民税の収納率が良い要因は。

答 3年前から2名の徴収専門職員を配置し、その職員の徴収努力の成果と考える。

問 ここ数年間の一般会計から町営あらかわゴルフ場特別会計への繰出金は、どの位か。

答 大体1年間に3百万円の繰出だが、19年度は933万円であった。

〈特別会計歳入歳出決算〉

問 公共下水道事業特別会計の分担金及び負担金の滞納者数と普及率は。

答 滞納者数は38件、普及率は66.7%である。

問 町営あらかわゴルフ場特別会計で、毎年1千万円近い赤字となっているが、打開策はあるのか。

答 今後、市長と協議し、地元の意見を聞き、財政を見ながら考えていきたい。

問 町営あらかわゴルフ場の指定管理者制度導入は考えなかったのか。

答 調査はしたが、導入までは至らなかった。

◆旧神林村決算認定（10議案）

〈一般会計歳入歳出決算〉

（歳入）

問 合併を前にし、基金の取崩しが目立つが、その理由は。

答 合併にあたり、地域事業や校舎修繕等を極力着手し、新市に負担をかけないよう考えた。

問 指定管理者制度を導入している「有機資源リサイクルセンター」の効果と、管理料の今後は。

答 19年度からの運営で、地力向上を目指すのだが、19年度に洗車場と換

気設備に経費がかかった。今年度の管理料は280万円を上限としているが、今後少しずつ減額される予定である。

〈特別会計歳入歳出決算〉

問 国民健康保険特別会計の不納欠損件数はどの位か。

答 現年度分は13件である。

問 介護保険特別会計の収入未済額の内容は。

答 現年度分139件、過年度分82件である。

◆旧朝日村決算認定（11議案）

〈一般会計歳入歳出決算〉

（歳入）

問 収納率が高い理由はどこにあるか。

答 厳しい納税態度で臨んでいることと村民の納税意識の現れたと考える。

問 県営発電所所在市町村地域振興助成金とは。

答 奥三面・猿田・三面にある県営水力発電所設置村に対する地域振興事業への補助金である。10力年で約8千674万円の歳入があった。

（歳出）

問 総合情報ネットワークシステム事業が完了したが、今後の課題は。

答 加入状況は93%で、自主放送「あさひチャンネル」において、地域ニュースを1日4回、音楽番組等を1日2回放送している。今後は災害時の安否

決算審査特別委員会審査報告(2)

確認などにも活用していきたい。

問 普通財産解体工事費2千824万円とあるが、何を解体したのか。

答 廃校になった校舎や、使われなくなった診療所など8棟の施設解体を実施した。

問 児童生徒送迎業務委託料約2千万円、スクールバス運転業務委託料約1千万円、スクールバス借上料約1千3百万円とあるが、その内容は。

答 児童生徒送迎業務委託料は、冬期間の児童生徒の安全確保のためバス8台を民間委託運行している。また、スクールバス運転業務委託料は、村所有のスクールバス12台のうち4台を運転業務委託しており、スクールバス借上料はバス8台分のリース料である。

《特別会計歳入歳出決算》

問 みどりの里特別会計の歳入で、一般会計から5千774万円の繰入がある。民間委託など指定管理者制度の導入は考えなかったのか。

答 経営努力はしているが、一般会計繰入が歳入の1/4である。運営委員会で民間委託も話し合われたが、難しい問題がある。

問 蒲萄スキー場の稼働状況と、予算編成における実績についての検討は。

答 オープンから78日間の稼働を考えたが、天候の関係から54日間となった。これまでも稼働実績で予算編成を行ってきた。

《水道事業会計決算》

問 水道事業会計で配水量の有収率が82・1%とかなり低い、その理由は何か。

答 広い土地の関係から有収率が低い。

◆旧山北町決算認定(10議案)

《一般会計歳入歳出決算》

(歳入)

問 固定資産税の徴収猶予はあるか。ある場合はその事実関係はどうか。

答 スギトピア岩船は、18・19年度2カ年分の徴収猶予がある。徴収猶予の申請は平成20年3月18日、許可は平成20年3月21日である。徴収猶予期限は平成21年2月28日となっている。

問 地方税法の徴収猶予の要件において、どの部分を適用して徴収猶予し、誰が許可をしたのか。

答 徴収猶予申請を受けた町長が、経営的に苦しく再生に向け努力中ということで、地方税法第15条第1項第3号「事業を廃止又は休止したとき」と、第5号「前各号の一に該当する事実」と類する事実があったときに該当するかと考え、徴収猶予の許可を判断した。

問 徴収猶予をする場合、50万円以上は担保を取ることになっているが、担保は取ったのか。

答 大変苦しい経営状態であったので

地方税法第16条の「ただし、担保が徴収できない特別な事情がある場合はこの限りでない」をあてはめ、担保は取っていない。

(歳出)

問 役場庁舎建設基金積立金は、いくらか。

答 現在、102万円余の積立である。

問 集落囀託員経費約1千430万円の内訳は。

答 区長基本報酬7万6千円プラス1世帯あたり4千300円。49名の区長が対象である。

【委員会の議事進行から委員長判断】

町長が、法律違反とみられる徴収猶予をしたことや、この企業に市長提案で6月議会において市が補助金を出すことを決めている事実は、議会として看過できない等の意見が続出し、委員会を協議会に移行して審査を続けた。

【協議会に移行して協議した概要】

- (1) 徴収猶予の条件には該当せず地方税法に抵触。
- (2) 旧山北町の合併直前に徴収猶予が出され、許可されている点に疑問を感じる。
- (3) 市長が事実を知らず市補助金を上程した。
- (4) 税の公平公正性に欠け、一般市民の納税意欲を低下させる行為である。
- (5) 議会が問題視してから、急に納税し、決算内容等の資料が出されるなど問題

がある。

【議長、議会運営委員長に調査特別委員会の設置を申し入れることを付帯決議とする】

◆旧岩船地域広域事務組合決算認定(6議案)

問 介護保険事業特別会計の認定審査の医師は確保されているか。

答 当初は1名だったが、現在2名の医師が交替であつていてる。

問 ごみ処理事業特別会計で荒川郷施設管理費とあるが、この施設はダイオキシンとの関係で使用していないはずである。老朽化しており、下流域域の不安もある。その対策は。

答 ごみ更新計画では平成24年度に取壊す予定になっている。

概略、以上のような審査を経て、付託された19年度各一般、特別及び水道事業会計決算関係55議案のすべてを認定すべきものと決した。

決算審査特別委員会

- | | |
|------|-------------|
| 委員長 | 姫路 敏 |
| 副委員長 | 齋藤信一郎 |
| 委員 | 小杉 和也 本間 清人 |
| | 相馬 エイ 長谷川 孝 |
| | 富樫宇栄一 川村 敏晴 |
| | 小野七五三 瀬賀 秀雄 |
| | 鈴木いせ子 板垣千代子 |
| | 大滝 久志 大滝 国吉 |

地方税の徴収及び延滞金に係る違法確認等に関する不正疑惑調査特別委員会の設置について

平成19年度歳入歳出決算の審査を行った、決算審査特別委員会の審査結果を受け、9月24日、議会運営委員会が開催されました。

議会運営委員会では、スギトピア岩船の諸問題に対する調査特別委員会の設置について協議されましたが、委員の意見は一致せず、調査特別委員会の設置は見送られました。

このようなか、9月定例会最終日に4名の議員から、地方税の徴収及び延滞金に係る違法確認等の調査を目的とする調査特別委員会（百条委員会）の設置議案が提出されました。

これに対し、反対、賛成の

討論が行われ、記名投票の結果、賛成少数（賛成11票、反対17票）で否決されました。

提案理由

本間 清人

この議員発議における賛成議員は、富樫議員、小杉議員、小池議員である。

この度の旧山北町における固定資産税の徴収猶予は、市長が町長の時に決めたことである。この件については、徴収猶予の規定に該当しないのではないかと。またこの猶予は、法律にも違反しているのではないかと。国県からも補助金を受けている企業であり、税金を納めていないのに、税金からの補助を受けるのは実におかしなことである。議会として、議員として、調査特別委員会の設置を求めるものである。

百条委員会とは

地方自治法第百条第一項に規定された委員会で、市の事務に関する調査を行い、選挙人その他の関係人の出頭、証言や記録の提出を請求することができる権限を有しています。

討論

議員発議第15号 「地方税の徴収及び延滞金に係る違法確認等に関する不正疑惑調査特別委員会の設置について」

賛成

反対

大滝 国吉

本件は、税法に基づいて処理されたものと理解しており、地域林業の振興や雇用の場の確保から考えれば、当時の山北町が判断したことは妥当であったと考える。

市長からも報告のとおり、この件に関する税はすでに納税されている。よりよい地域づくりのために議論することは大切なことと考えるが、調査特別委員会を設置してまだ、調査をする必要性は認められないと思う。よって、本発議に対して反対するものである。

賛成

富樫 宇栄一

徴収猶予していた税が納入されたからよい、という訳ではない。問題は徴収猶予の許

可が、法に則った適切な処理であったかどうかである。

平成19年度決算審査の段階で、「地方税法違反」の疑惑が指摘されたが、納得のいく説明がなかった。

納税は国民の義務であり、皆苦しい中で苦勞し、努力して税金を納めている。その中で特定の企業だけを優遇することがあってはならない。ここで調査委員会を設置し、疑惑解明をすべきである。

反対

大滝 久志

地方税の徴収猶予をした際、納税者は経営再生を目指し、事業を継続すべく関係機関と協議していた時期である。この時、業者の経営状況は廃止または休止と類すると判断でき、担保の徴収をしなかつたのも特別な事情と考えられ、制度的に認められた範囲内の対応と認識している。

このことがなぜ不正疑惑に繋がるのか。不正疑惑とは一体何を指しているのか。

スギトピア岩船が一日も早く、経営再建し地域の発展、林業の発展に寄与されること

を期待し、反対討論とする。

賛成

相馬 エイ

組合は、決算審査特別委員会終了後、数日間滞納金を納付した。不況でどこも大変なとき。大金を簡単に用意できるなら、なぜ合併前の3月18日に徴収猶予の申請をしたのか。組合の決算書で猶予された滞納分が、なぜ未払金に入っていないのか。疑問が多いこの組合に6月議会では修正案も出され問題になったが否決され、約1千250万円の補助金交付が決められた。行政は地域住民に公平でなければならぬ。財政は正しく運用する責務がある。



新潟北部木材加工協同組合（スギトピア岩船）

反対

板垣 栄一

当該事業所が立上げられた趣旨は何か。私は、管内の林業振興が最大の目的であると認識している。

現時点で、調査特別委員会を設置することにより、当該事業所の社会的信用が低下し、林家経営は疲弊する。担い手の確保にブレーキがかかることは目に見えている。

徴収に誤りがあるとするなら、正すのが議員の使命であり、あたりまえのことである。当該事業所のスポンサーが決定し、方向付けができてからでも遅くはないと思う。

賛成

姫路 敏

調査特別委員会の設置は、議会として必要な仕事である。先の決算審査特別委員会で発覚したスギトピア岩船の固定資産税徴収猶予許可は、違法行為であったこと。そして本年6月議会で、市長はスギトピア岩船が約1千924万円の固定資産税徴収猶予許可がされている企業と知りながら、約1千250万円の補

助金支給企業として税金滞納の事実を議会に隠し、議案上程してきた行為に違法性がある。しっかりと調査をするべきである。

反対

平山 耕

スギトピア岩船が、2年間滞納していた固定資産税を、9月24日に全額納付したと市長から報告があった。

確かに、2年間税金が未納だったことは社会通念上許されることではない。しかし、事実として納付された以上、この問題を深く追及することに、どれほどの意味があるのか理解できない。百条委員会を設置してまでも調査すべき問題ではないと考える。公益性の高いスギトピア岩船の事業が継続できるように方策を考えるのが議員の役目である。

賛成

長谷川 孝

税の徴収猶予は担保、保証人の保証を取ることが地方税法上必要である。議会がこのまま黙認するならば、市長は再

度、法律違反を繰り返す可能性もある。税の滞納事業者に市の補助金が支払われることも、議会は問題視しなければならない。スギトピア岩船は民間事業者であるが、創業時に国・県が支払った補助金を市が返還しなければならぬ。事態も考えられることから、調査特別委員会を設置することは避けられない。

反対

川村 敏晴

国の下請的な事業である当該法人の経営維持は、当該自治体である旧山北町として、国や県、関連自治体に対して、もその責務の重さを強く感じていると推察される。合併前に当該自治体の責任として、固定資産税の徴収を猶予する判断をくだすことは理解できることである。

また、決算審査特別委員会における審査の結果、当該法人の企業努力を促進し、税金の納入に合わせたことは、議会の機能として大きな役割を果たしたと思う。

意見書の提出

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書
- 「30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の拡充」を求める意見書
- 「後期高齢者医療制度の廃止」を求める意見書
- 子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、私学助成の増額・拡充を求める意見書
- 道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書

以上の意見書は、第2回定例会で可決され関係行政庁に送付されました。

議会を傍聴しませんか

本会議場で行われる議会は、どなたでも傍聴することができます。市政への知識を深めることや、市議会の活動、市政の方針などを知ることができます。

傍聴を希望される方は、会議当日、本庁舎5階にある傍聴席入口前において「傍聴者カード」に住所・氏名・年齢等をご記入ください。

なお、団体での傍聴を希望される方は、席の都合もございますので、事前に議会事務局へお問い合わせください。

- 問い合わせ 議会事務局
TEL 53-3219 (直通)
- 村上市議会ホームページ
<http://www.city.murakami.niigata.jp/gikai/>

一般質問

9月5日・8日・9日・10日の4日間の日程で行われた一般質問に20名の議員が登壇しました。質問及び答弁の要旨を掲載します。

9月5日

滝沢 武司 議員	高齢者福祉施策に市民の声を ほか1件……………	12
長谷川 孝 議員	固定資産税徴収猶予はスギトピア岩船ではないか……………	12
鈴木いせ子 議員	救急医療体制の見直しを！ ほか1件……………	12
小林 重平 議員	過疎と農業問題について……………	13
山田 勉 議員	嫁婿対策について ほか3件……………	13

9月8日

小杉 和也 議員	図書館の現状を把握して充実すべき ほか1件……………	14
姫路 敏 議員	環境問題で産業育成を！……………	14
本間 清人 議員	健全な行財政改革とは……………	14
相馬 エイ 議員	原油高騰で苦しむ市民の生活を守れ ほか1件……………	15
板垣 一徳 議員	観光リゾート振興について ほか1件……………	15

9月9日

川村 敏晴 議員	市の救急医療体制は？ ほか2件……………	16
小野七五三 議員	国史跡村上城跡・平林城跡の今後について ほか2件……………	16
板垣千代子 議員	6月定例会の質問内容について ほか1件……………	16
山田 昭夫 議員	山辺里小・門前谷小の統合小学校付近通学路の安全対策は……………	17
中山 悌一 議員	農業の振興策について……………	17

9月10日

大滝 久志 議員	林業に光を！ ほか1件……………	18
岩倉 幸治 議員	村上市の医療体制の早期整備について……………	18
富樫宇栄一 議員	あらかわ大祭は今後も継続か ほか2件……………	18
瀬賀 秀雄 議員	地域情報基盤整備（光ファイバ）について……………	19
川崎 健二 議員	堀川のしゅんせつ工事について ほか1件……………	19

1日目(9月5日)



滝沢 武司 議員

高齢者福祉施策に市民の声を 一体化を育む市教育行政を

問 「後期高齢者医療制度の廃止」(連合新潟村上地域高齢者協議会提出) 請願紹介議員の立場から、市は高齢者福祉施策において高齢者個人や団体の意見・要望をどの様に聴取し反映させようと考えているか。

答 高齢者個人から、サービ又内容への意見や要望を聴いたり、関係団体と年数回の合同会議や懇談会等の場で意見や要望を聴き、施策の検討に加えるよう努めている。

問 市内小中学校の「夏休み」の開始・終了にばらつきが見られたのはなぜか。

答 学校管理運営規則の範囲(7/25~8/31の間、35日間)で旧市町村各学校の状況を認めため、夏休みの開始・終了が一定ではなかった。実質的な実施日数は、ほぼ同じと受け取っている。今後、基本的には各学校の実状を尊

重して、行っていきたい。

問 市教育委員会で統一した対応や指導はしなかったのか。

答 年間授業日数を確保し、地域行事や各種体育行事等を十分考え、夏休みを有効に活用してきた旧市町村各学校のこれまでの実績を認め、指導等の必要は感じなかった。

問 施政方針中の「新市小中学校の一体感の醸成」との相違が感じられたが、市教育委員会の考えや今後の進め方は。

答 合併間もない段階であることや、合併事務調整で統一対応の方針もなかったことから、特に統一はしなかった。今後夏休みに限らず、学校との十分な協議や地域実態等の検討をもとに、一体感を育むための統一性のある教育行政を進めたいと考えている。



長谷川 孝 議員

固定資産税徴収猶予は スギトピア岩船ではないか

問 平成19年度一般会計決算では、固定資産税滞納繰越分が約2億2千246万円と市税全体の52.6%を占め、徴収率に影響を及ぼしている。旧市町村別固定資産税滞納分について、総額と一番多い納税義務者の金額はいくらか。

答 旧村上市では滞納総額1億1千785万円、最高額が403万円、同様に旧荒川町1千890万円、最高額が238万円、旧神林村3千354万円、最高額が233万円、旧朝日村3千188万円、最高額が241万円、旧山北町5千029万円、最高額が1千924万円である。

問 これまで徴収猶予した事例はあるか。

答 新市においてははないが、合併により引継いだものが1件ある。

問 旧山北町の1千924万円が異常に高額である。産業観光部長の答弁では、スギト

ピア岩船の第8期決算書には固定資産税分が記載されていないとのことだが、税金が未納であるため未払金として計上されていると想定される。事業規模からして徴収猶予はスギトピア岩船でないのか。

答 この場では答えられない。

問 徴収猶予には担保が必要となるが取つてあるのか。

答 頂いていない。

問 法律違反ではないか。民間である税の滞納事業者に、市の補助金が支出されたとなれば問題がある。スギトピア岩船が不幸にして破綻した場合、村上市が国県に返還する補助金額はいくらになるか。

答 継続を前提に努力しているので仮の話はできない。



鈴木いせ子 議員

救急医療体制の見直しを！ 「村上市男女共同参画プラン」 の進捗状況について

問 村上市民の命を守る救急医療体制を含む、県北の病院のあり方について。

答 この地域の救急医療を確保するために、厚生連村上総合病院と県立坂町病院が輪番制で担っているが、今年度は、病院群輪番制補助金を前年度より増額し、病院夜間診療を担当する勤務医の負担軽減を図っているところである。

問 市長の考えを推し進めるスタップをいち早く立上げ、県の考えを聞き、厚生連村上総合病院の考えを聞く窓口を置くことが肝要と思うが。

答 県や市町村、市民と共に地域医療確保の方策について話し合っているところである。また、私自身も直接病院長から、医療現場の実情などについて伺っている。

問 旧村上市において作成した「村上市男女共同参画プラン」の進捗状況について伺う。

答 本年3月には事業の達成度評価を実施し、検証を行っている。その結果、項目によって差はあるが、全体としては計画されている主要事業のうち、概ね7割が実施された状況となっている。

問 旧村上市において作成した「村上市男女共同参画プラン」の進捗状況について伺う。

答 本年3月には事業の達成度評価を実施し、検証を行っている。その結果、項目によって差はあるが、全体としては計画されている主要事業のうち、概ね7割が実施された状況となっている。



小林 重平 議員

過疎と農業問題について

問 本市の限界集落数は。若者の定住に対する取り組みは。

答 限界集落は、本市に7集落ある。魅力ある地域づくりを積極的に取り入れ、270を越える行政区の生活基盤を支えていきたい。

問 また、若者の定住促進のため、多くの方が働けるような企業を誘致したい。

問 第3子以上の保育料無料化や、乳幼児医療費助成を中学生まで引上げてはどうか。

答 子どもを、多く産んでも

市の総合計画との整合性を図りながら、新たなプランを策定していきたい。

問 村上市職員の男女の割合、女性管理職の割合について。

答 管理主事及び指導主事を含む982人の全職員のうち、男性は601人で61.2%、女性は381人で38.8%である。

女性管理職の割合について

安心して子育てしながら働く環境づくりを進めていくことが、一番重要と考えている。今後検討したい。

問 「企業誘致課」を設置する考えはないか。

答 産業観光部に職員を配属している。担当職員とともに努力していきたい。

問 世界的な穀物の高騰による米の割安感や、米粉利用が増えたことにより米の消費が増えている。しかし、農業経営は厳しい。国は飼料米、米



は、管理職員総数が119人、うち8人が女性であり、管理職員全体の6.7%である。

粉用作付に対する新しい交付金の検討に入ったが、価格の面で懸念されている。農家が安心して米づくりができるよう、国に旧食糧管理法に戻す働きかけをする考えはないか。

答 食糧管理法が廃止になった要因は、米不足による価格の暴騰、米の市場開放により諸外国から輸入したことにある。JAと協力していきたい。

問 家庭の食材は、8割近くが輸入したものに頼っている。市独自で農家に補助金を交付する考えはないか。

答 何に對し補助金を交付するか、各機関と連携をとりながら検討していく。



山田 勉 議員

嫁婿対策について

ほか3件

問 武道館建設について

答 武道を通して青少年の健全育成のため、総合武道館を建てる考えがあるか。

答 運動が展開されている事は承知している。体育施設の活動状況なども考慮し、総合計画とスポーツ振興基本計画との整合性を図り検討したい。

問 旧荒川町「まじの家」について

答 旧荒川町で運営していた「まじの家」について、今後再開の予定はあるか。

答 日帰りの温泉施設として整備できるか調査中である。管理・運営なども考慮し、総合的に検討していきたい。

問 嫁婿対策について

答 未婚率は上昇の一途をたどっている。村上市として、嫁婿対策についてどのようなことを考えているか。

問 旧山北町では、以前パーティなどを開催したが成果が得られなかった。そこで、「週末百姓やってみ隊」として、田植えから稲刈りまで年間を通して農業を一緒にやることにより、成果が上がった。このことを、今後参考にしたい。

企業誘致について

問 ガソリン高騰により生活が厳しくなり、働きたくても仕事をする場所がない状況である。現在、村上市でも積極的に企業誘致しているが、今後現在のどのような状況か。

答 (株)新潟ジャムの新工場も操業を開始した。大型スーパーも村上市地区2店舗、朝日地区1店舗の出店を予定しており、ほかの地区においても出店を計画していると聞く。

先般、地元出身者や各地区のふるさと会などに企業立地の情報提供をお願いした。また陸路だけでなく海路を使った企業誘致に努力する。

旧山北町では、以前パーティなどを開催したが成果が得られなかった。そこで、「週末百姓やってみ隊」として、田植えから稲刈りまで年間を通して農業を一緒にやることにより、成果が上がった。このことを、今後参考にしたい。

企業誘致について

問 ガソリン高騰により生活が厳しくなり、働きたくても仕事をする場所がない状況である。現在、村上市でも積極的に企業誘致しているが、今後現在のどのような状況か。

答 (株)新潟ジャムの新工場も操業を開始した。大型スーパーも村上市地区2店舗、朝日地区1店舗の出店を予定しており、ほかの地区においても出店を計画していると聞く。

先般、地元出身者や各地区のふるさと会などに企業立地の情報提供をお願いした。また陸路だけでなく海路を使った企業誘致に努力する。

2日目(9月8日)



小杉 和也 議員

図書館の現状を把握して充実すべき 市長車は小型ハイブリッド車に

問 平成19年度、旧5市町村に学校図書費として交付税措置された金額は、約1千4百万円、決算額は1千8万1、453円で、72%にしかならないが、どのように思うか。

答 子どもたちのために、図書の購入に積極的に取り組みたい。

問 中央図書館は祝日が休館日となっている。祝日の利用を望む声が多いのではないか。

答 特別な理由がなければ、祝日も開館すべきだと思う。校図書館の状態はどうなっているのか、きちんと把握しているか。

答 一部は把握しているが、全部は見えていない。今後、機会があれば回りたい。

問 地球温暖化防止など、環境に対しての取り組みは、行政が先頭に立って、市長自ら

が市民の目に見えるような形でPRすべきで、まず市長車を小型ハイブリッド車に換えてPRしたらどうか。

答 ハイブリッド車導入は、十分検討していかなければならないと考えている。

問 資源ごみの有効活用のために、本庁舎・支所など公共施設にリサイクルステーションを設置し、アルミ缶等を回収した収益で各学校にソーラーライトを設置して、環境教育にも反映してはどうか。

答 十分検討に値すると考えている。

問 新市は多くの森林があるが、環境政策はどのような着眼点で取り組んでいくのか。

答 森林が多く存在し、川や海などへの自然循環があるので、それらを大切にしていって、施策を構築していく。



姫路 敏 議員

環境問題で産業育成を!

問 本年7月に開催された北海道洞爺湖サミットの議長総括で、当時の福田総理大臣は「2050年までに世界全体の温室効果ガス50%削減に向け、国連気候変動枠組条約締約国と共有することを求める」との声明が出されたが、そのことを村上市としてどのように捉え、進めていくのか。

答 村上市として、2つの対応を考えている。1つは環境問題全般における本市の基本姿勢を示す「環境基本条例」の制定を今年度中に実現するように策定中である。2つ目として「地球温暖化対策の推進に関する法律」に従い、来年3月末までに本市の事務事業全般にわたる温室効果ガスの排出量を調査し、その削減に向け「実行計画」を作成することになる。とりわけ温室効果ガスにいたっては、京都議定書の目標達成計画を勘案し進めていくことになる。

問 環境問題と言えば政府が主導する「チーム・マイナス6%」というプロジェクトがあり、ホームページ上や各地で会員同士が様々な情報交換を行っている。近隣自治体では、新潟市や新発田市も会員となっているが、村上市も登録すべきである。

答 大変参考になる考えである。前向きに検討する。



本間 清人 議員

健全な行財政改革とは

問 村上市では、地域の防犯組織として、どのような組織があるのか。

答 村上市、関川村、栗島浦村及び村上警察署で運営している村上地区連合防犯協会、そして各小学校区ではPTAや教師、ボランティアなどによる「ながらパトロール」。民間では、村上防犯パトロールなどがある。

問 民間の防犯パトロールに対して、支援する考えはあるか。

答 村上地区連合防犯協会に加盟するのは無理があるようなので、今の補助金7万2千円が適切かどうかも含めて協議する必要がある。

問 市長の考える人づくりについてであるが、スケートボードや柔道など、将来とて

期待のできる青少年に対し、行政としてどう育てるのか。

方でよいのか。

答 今年4～6月期の村上市景況調査で、悪いと答えた企業は62.2%、昨年同月比15ポイント悪化。今後は国、県の支援策周知、関係者と協議し相談に応ずる。先月県知事に燃油高騰対策を要望してきた。市の低利融資不況対策資金制度の周知、活用にも努める。

問 市長が考える「3百万人観光の実現、通年型観光地の形成を目指しての観光振興計画」とは。また、今年度の観光客数はどのくらいか。

答 総計画との整合性を図りながら進めている。今年度は、各町内や集落の観光資源の基礎調査・集計を行い、それをもとに策定委員を選定し、来年度、委員会を開催したい。

むらかみ市議会だより

問 健全な行財政改革を進める市長として、交際費の使い方はどうなのか。4～6月までの3ヶ月間における交際費合計は、94万5千円使っているが、1年間で4百万も使うことになる。このような使い

問 海を利用した「クラインガルテン」とは。

問 8月15日は戦後63年目の終戦記念日。戦争体験者は少なくなり、8月6日、9日などのような日かも知らない子ども達も多いと聞く。太平洋戦争間の村上市戦没者は2千793人。戦争の悲惨さと平和の尊さを子ども達に伝えることは大人の責任である。

問 観光客数は、4～7月までで52万4千人であり、昨年より59万5千人を下回っている。

問 雇用対策をどのように受け止めているのか。若者を地元に住住させるには、早急に雇用の場が必要と考えるが。



相馬 エイ 議員

「非核・平和都市宣言」を村上市でも

原油高騰で苦しむ市民の生活を守れ

問 漁業者は「原油高騰で採算が取れず、既にコストの1/3を超えている。燃料代のかからない近海での操業で何とかやっている。船やエンジンの修理など、全て先延ばししている」と深刻な状況。また、「村上牛」飼育農家も「飼料代は昨年と比較して1tあたり4万5千円が7万円と25%も上がり、子牛の値段も上がっているが、出荷時の肉の値段は下がっている」と窮状

答 大事なことである。皆さんと前向きに検討していく。

問 市には温泉、スキー場、ゴルフ場や日本一の清流がある。それらを点から線へ結び観光振興計画を策定していきたい。

問 担当者を2名配置し、いろいろな団体と接触して立地可能な企業を探している。陸路ばかりではなく、岩船港の海路を利用した企業の誘致も考えている。同時に、地場産業にも力を入れていきたい。



を訴えている。せつかくブランド化されても、ここ数年で飼育農家数が激減している。原油高騰の影響で経費の大幅負担増のため、企業努力しているが、経営が限界にきているクリーニング店の状況など、市民の暮らしが深刻になっている。国、県に対して投機マネーの規制や急激な生産コスト上昇への経営安定対策を求めるべきである。市独自の救済策を考えるべきでは。

問 蒲萄スキー場の昨年度の実績と今年度の運営方針について。また、学校教育に活用すべきと考えるが。

答 歳入はリフト使用料が731万5千円、スキー貸出料などが120万8千円、一般会計繰入金2千55万4千円であり、利用客数は6千303人となっている。

3日(9月9日)



川村 敏晴 議員

市の救急医療体制は？
坂町駅周辺の排水路改善策について
夏休みの子供の水場環境整備

問 市では、第一次救急医療のため、診療所施設の提供は考えていないか。

答 村上市岩船郡医師会では、夜間診療ができないとのことであり、基幹病院である厚生連村上総合病院の、しっかりとした医療充実策が最善と思う。

問 コミュニティバス運行で、代替バス運行補助金を圧縮して財源をつくり、訪問診療もできる医師を市として確保できないか。

答 医師確保については、大学や県に出向き依頼をしている。

問 南の玄関口であり、大勢の人が出入りする坂町駅周辺の排水路整備について、市長の考えは。

答 下水道工事は完了しているのに、普及率が低いと思う。家庭排水の流入を防ぐ為にも、排水路の改修と下水道の加入

率向上策を検討していきたい。

問 昨夏までは、子どもたちの体づくりや、避暑対策として利用していた地区プールの利用が大きく制限されることとなった。今後の対策と水場環境に対する取り組みについては。

答 県内外のプール事故により安全管理のため、県プール条例が施行となった。このことから、プール開設時の条件が厳しくなり、地区プールを開設できないところもあった。今後は各地区の現状を再度確認しながら、水質調査等は市が受持ち、監視については各地区で受持つなど、検討をさせていただきたい。

問 荒川や二面川等に遊泳可能な施設の整備は考えないか。

答 国土交通省にも、河川での遊泳等について問合せをみたいと思う。



小野七五三 議員

国史跡村上城跡・平林城跡
の今後について
ほか2件

問 村上城跡は、長期間整備修復工事が進められているが、全体計画の完了はいつ頃か。

答 石垣の修復、整備計画の完了は国県の支援関係もあり、時期については今、明示できない。

問 山頂付近にはトイレがない。バイオ等のトイレ設置をしてほしいが。

答 早朝の利用者も多い。実態を調査し、対応したい。

問 平成10年度より調査・環境整備修復等を実施した。その事業費は、現在まで幾らか。

答 年毎の事業費は一定ではないが、合計2億2千193万円になる。

問 棚上げになっている平林城跡整備計画において、今後の取り組みは。

答 委員を選考し、来年2月～3月に委員会を立ち上げ、21年度から審議できるように早急に実施計画を作成する。また、整備計画には旧委員に

も参加して頂き、今年度は登山道整備を384万円の事業費で10月から着工する。

問 地区住民からの要望も強い林道岩船東部線(仮称)だが、国県への要望もまだ採択に至らず、今後さらに建設促進に動くべきと考えるが。

答 市圏域では県宮林道5路

線を建設中で、県農林水産部地域振興局では財政が厳しく、新規では難しい。平成24年度に三条山線が完成予定で、その後採択を目指し努力をする。

問 若者の働く場の確保が必要であるが、企業誘致は他市町村と同様の誘致活動では難しい。市独自の優遇処置は。

答 税の減免や土地を安価に提供することなども必要であるが、岩船港を活用した、海路を使用する企業にも働きかけをしたい。



板垣千代子 議員

6月定例会の質問内容について
無料配布ごみ袋について

6月定例会の質問内容について

問 先般、6月定例会一般質問においてAED(自動体外式除細動器)の普及及び講習について質問したが、その後はどうか。

答 AEDの設置を予定していた本庁舎分については、7月1日に2階市民課窓口を設置し、各課から20名が参加し

講習を受けた。また新潟県生命保険協会から、本市にAED1台寄贈の申し出があり、スポーツ施設がふさわしいということから、朝日総合体育館に設置予定である。未設置だった村上地区7小学校についても7月末に設置を完了した。

講習については、学区単位で夏休み前の保護者会等で実

施している。また、福祉保健部では消防署に応急手当講習会を要請し、保育士、学童保育所指導員や子育てサポート136名が受講した。

問 消防団員への支援について(協力依頼及び救急箱の配備について)はどうか。

答 10月1日発行の市報において消防団への入団依頼、また市内企業への協力要請を呼びかける予定である。

救急箱の配備については、7月上旬に各方面隊本部指令車に配備したところである。

無料配布ごみ袋について

問 現在、市で無料配布しているごみ袋は、障がい者や生活保護世帯、要介護認定を受けている受給該当者に配布されているようだが、本庁及び各支所でしか受取ることが出来ず、時間の制限や土日、休日を受取ることができない。

地域の小売店などでも受取り可能にして頂きたい。わずかな手数料ではあるが、商店の活性化に繋がると思うが。

答 今後の検討課題としたい。



山田 昭夫 議員
山辺里小・門前谷小の
統合小学校付近通路の
安全対策は

問 村上市農村環境改善センター付近の交差点には、3方向に横断歩道がある。残り1方向についても横断歩道を設けるべきではないか。

また、安全に横断できるよう、歩行者用信号機を取付けるべきと思うが。

答 村上警察署を通じ、県の公安委員会に要望している。

統合小学校が開校するまでは、信号機を含めた安全施設の整備ができるように、継続して要望していく。

問 通学路となる農村環境改善センター側で、交差点からセンター入口までと、坪根方向の校舍建設予定地までの間に歩道を設け、児童の安全を確保すべきと考えるが。



答 交差点から、門前方向に改善センター入口までと、坪根方向の校舍建設用地までは必要だと思う。県とも協議をして設置に向けて検討をした。

問 市長・教育長は、歩道等の交通安全施設がなんとかして必要なのは理解できたか。

答 市長 十分に理解した。信号機については多くの要望があり、厳しい状況にあるが警察署や公安委員会にお願いしていく。また、歩道については設置しなければならぬと感じている。

問 状況は理解できたので、市長部局と一緒に今後対応していきたい。

答 今から開校の平成23年までの期間をどう捉えるか。

問 今の状況からさっそく行動を起こさないと、開校までに設置することが難しい問題であると思うが。



中山 悌一 議員

農業の振興策について

問 市長の施政方針の一つで「活力と魅力に満ちた都市づくり」に圏域農業の発展は欠かせないものの一つである。

地産地消の推進と食育の啓発とは。

答 市内22箇所の直売施設を拠点とし、地産地消の推進にあたる。家庭・学校・地域が連携した食育の啓発に努めていく。

問 「地産地消の日」の制定や地域食材を使用した伝統食・文化の紹介など、地域住民の交流会を企画してはどうか。

答 同感である。一番大事な原点であり、ぜひ各地域に啓発していきたい。

問 都市との交流促進と消費拡大方策とは。

答 地域回遊型グリーンツーリズムを官民共同で推進し、交流人口の増加や、地元農産物の消費拡大と地域活性化を図っていきたい。

問 環境にやさしい農業の振興方策とは。

答 堆肥センターを有効に活用した土づくりや、環境保全型農業に取り組む農業者を積極的に支援していく。

問 地域のリーダーを育成するためにも、村上市独自のリーダー認定制度ができないか。

答 理想とするところであり、制度等を今後検討していく。

問 優良農産物を推奨するためにも、一定基準を設けて村上市域ブランドの認証制度が出来ないか。

答 同感であり、高品質等を基準として対応していく。

問 1割以上といわれる団塊の世代が農業を通じて、交流の場や、住み込み研修が出来る施設などは考えられないか。

答 滞在型市民農園を導入し、交流から派生する定住対策等を推進する。

4日目(9月10日)



大滝 久志 議員

林業に光を！ 基礎学力の向上を図れ

問 人間的な暮らしとして、林業は農業・水産業と同等で今後、それ以上に注目される産業と考えるが、市長は林業の重要性をどうお考えか。

答 林業は、木材生産はもとより、山地災害の防止、水源かん養、二酸化炭素の吸収源など私達の安全・安心な生活を支え、農業、水産業とともに極めて重要な産業である。今後、間伐などの森林整備に向け、林道、作業道等の基盤整備に力を入れたい。

問 地域木材加工施設について、市長はどうお考えか。

答 森林組合や木材業者、森林所有者が利用する拠点であり、欠かす事の出来ない施設である。この圏域の林業を支える事業体にて育てていかなければならないと考えている。

問 村上市教育基本計画を策定中と思うが、保育園から中学校までの連携はもとより、基礎学力向上には生活習慣の建て直しが第一と思うが。

答 国県の調査でも生活習慣の大切さは確認されている。市では「あいさつ・我慢・後始末」をスローガンとし、改善に取り組んでいきたい。



岩倉 幸治 議員

村上市の医療体制の 早期整備について

問 県内の各地域では、医療体制の整備について具体的な構想を提案し、実施のために努力している。

答 魚沼地域における病院体制の整備、県央地域での加茂市長の医療構想提案、厚生連と阿賀野市による水原郷病院の委託協議など各地域では、具体的な構想を掲げて協議に入り、地域住民に対して生活の安心・安全について提案している。

問 医療において行政が努力している姿を見れば、住民は安心できるのでは。

答 この地域では、地域医療懇談会を設置し、協議しているが、具体的な解決策の姿は見えていないので、今後の課題である。

問 国、県からのこの地域の医療について新しい提案はあったのか。

答 懇談会での協議について見守っており、新しい提案はない。

問 国、県の関係者による地域医療については、その地域で計画を立ててほしいとのことだった。村上市ではいつになったら計画を立て、地域医療が前進している姿を示すことができるのか。



富樫 宇栄一 議員

あらかわ大祭は今後も継続か 児童プールの今後の利用は 県立坂町病院活性化協議会の今後は

問 荒川地域の力を集約して行われた「あらかわ大祭」を、今後も継続して開催するのか。

答 来年度も開催したい。今後、花火大会は市全体の取り組みとして、県内でも有数の花火大会になるよう努力したい。民謡流しも検討して行く。

問 財政的、人的支援を強化できないか。

答 来年度の助成に関しては説明不足などから誤解もあり、確認し開設した。

答 いろいろと難しい問題があるが、今後努力していきたい。



つたが、来年度に向け、十分な説明をしていきたい。

問 教育上の観点から教育長として何をしたか。

答 当時の責任者として、条例を正確に把握していなかったことについては責任を感じている。今年開設した施設の苦勞や、開設できなかった施設の意見を検証し、来年以降も大いに使ってもらえるよう努力したい。また施設の老朽化もあるので、安全第一とし、前向きに検討させて頂きたい。

問 県立坂町病院の医師不足

は危険水域にある。県立坂町病院活性化協議会の今後の取り組みと行政の対策は。

答 10月25日に胎内市で活性化促進大会を開催し、地域医療の現状を理解して頂き、県や大学病院へ要望活動を行う。本市としても関係市町村と力を合わせて同病院の医療体制構築に努力していきたい。




瀬賀 秀雄 議員

地域情報基盤整備 (光ファイバ) について

問 合併基本計画登載候補事業の中で、地域情報基盤整備を神林地区では、平成20年度から3カ年行うことで合意されていたが、平成20年度の実施は見送られた。

事業計画を確認した上で、合併を了承した議員や住民が大勢いると思うが、平成21年度からは事業に着手できるのか。

答 旧神林村の地域情報基盤整備事業に関しては、実施に至るまでの計画がなされていなかった。しかし、約束をした事でもあるので、今後、最大限の努力をしていきたい。

問 私が入手した過疎地域自立促進計画によれば、平成20年度および平成21年度の2ケ年で、事業費が7億2千7

20万円とあり、計画はなされていたものと思われるが。

答 財政計画とも連携を取りながら、内容及び手順を十分検討していきたい。

問 財源となる過疎債は、平成21年度までの時限立法であるが、その後の情報基盤整備事業の財源は。

答 過疎債以外にも色々あるので整備計画をつくり、財源も含めた検討をしたい。

問 既に完成した朝日地区及び今年度完成予定の山北地区の告知端末や、村上市のホームページに民間企業の「有料パネル」等を募集して、もっと民間活力を導入しては。

答 大変良い事だと思つ。旧村上市においても検討されたが、運用等の課題があつて導入まで至らなかった。新村上市においては、歳入確保の面からも十分検討する値がある。




川崎 健二 議員

堀川のしゅんせつ工事について 高齢化社会に対応したスポーツ振興策

問 昨年、神林地区澤田医院下から砂山小学校下までのしゅんせつ工事に着手したが、その先については、いつ頃までに完成するのか。

答 河川管理者が県であるため、引き続き計画的に工事を実施し、1日も早く完成させるよう県に要望していきたい。

問 この箇所には、雑草等が生い茂り、流れの悪い所がある。早急に撤去して頂きたいが。

答 早急に取り除くよう、県に要望したい。

問 高齢化社会を元気に過ごすため、健康づくりにチャレンジすることで、介護や病気の予防から医療費削減に繋がると考える。そこで、集落等に奨励金を出し、高齢者がスポーツに参加することで生涯体育の必要性を訴えることができると思うが。

答 高齢化が進む中、スポーツを通じて様々な出会いや交

流を楽しむ人が増えている。今後、体育協会と連携し交流会を開催するなど、高齢者のスポーツ人口の増加を図っていききたい。

問 高齢者のゲートボールなどスポーツ参加は、健康維持などからも必要な事と考える。しかし、来年度からは1回市の施設を使用する毎に、百円の使用料が必要となるため、負担が増加する。毎日練習が出来ず、参加者減少など、様々なマイナス要因が懸念される。

そこで、維持管理を使用する方たちに任せ、代わりに使用料の減免をして頂きたいが。

答 医療費削減や、介護・病



インターネット録画放映を はじめました!

市議会ホームページでは、第2回定例会分より本会議及び一般質問の様様を動画配信しております。
村上市立中央図書館でも、市議会の録画閲覧及び録画CDを借りることができます。

【お問い合わせ先】

〒958-0854 新潟県村上市田端町4-25
村上市教育情報センター内 (Tel.0254-53-7511)

市議会ホームページ

アクセスは検索サイトから

を

または <http://www.city.murakami.niigata.jp/gikai/>
市議会ホームページ「議会の情報」の「議会中継」をクリック!

※討論、代表質疑並びに一般質問の原稿は発言者、質疑者並びに質問者が作成したものを掲載しています。

編集後記

山々は色とりどりに染まり吹く風は肌寒さを感じる季節となりました。
「村上市議会だより」第3号をお送りいたします。
第2回定例会の市政に対する一般質問は20名の通告者で5議員ずつ登壇し、4日問行われました。傍聴には多勢の方からおいで頂きありがとうございました。私たちが議員も傍聴席がいっぱいにな

ると、より一層の緊張感と責任の重さを感じ、張り切って質問する事ができます。皆様の一票で選ばれた議員が何を市長にただし、何を訴えているのかを確かめにきて下さい。
合併をしなければ出来なかつた事がたくさんあるはず。合併のメリットを生かした市政運営を提案し、市民の付託に応えるのが議員の使命と考えます。
議会報は議員が市民の

声を聴き、それを行政に反映させ、その議会の様子を報告する大事な機関誌です。
皆様からのご意見をお待ちしております。
(鈴木いせ子)

議会広報特別委員会

委員長 滝沢 武司

副委員長 鈴木いせ子

委員 板垣千代子

委員 小池 晃

委員 大滝 国吉

委員 川村 敏晴

委員 本間 清人

委員 平山 耕

議会の動き (抜粋)

《H20.8.1～H20.10.31》

● 8月 ●

- 4日 議会運営委員会
村上市湛水防除事業推進協議会総会
- 6日 厚生文教常任委員会所管事務調査 (19日)
埼玉県騎西町議会視察来庁
(町屋再生プロジェクトほか)
- 7日 朝日地区戦没者合同慰霊祭
- 8日 第2回臨時会
- 19日 東北日本海沿岸市町村協議会総会
(秋田県にかほ市)
- 25日 議会運営委員会
- 26日 日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会
羽越本線高速化促進大会 (東京都)
- 27日 建設企業常任委員会所管事務調査
- 28日 日本海沿岸東北自動車道村上圏期成同盟会総会
- 29日 新潟県市議会議長会秋季定期総会

● 9月 ●

- 1日 第2回定例会 (～26日)
全員協議会
- 3日 北海道斜里町議会視察来庁
(NPO法人観光ルネッサンスについて)
- 7日 豊かな海づくり大会 いいがた大会
- 11日 決算審査特別委員会 (～16日)
- 17日 総務常任委員会
- 18日 市民経済常任委員会
全員協議会
- 19日 厚生文教常任委員会
- 22日 建設企業常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 山形県長井市議会視察来庁
(市町村合併について)
- 30日 村上地域社会福祉大会

● 10月 ●

- 6日 茨城県古河市議会視察来庁
(商店街の活性化について)
- 7日 市民経済常任委員会行政視察 (～9日)
建設企業常任委員会行政視察 (～9日)
埼玉県春日部市議会視察来庁
(商店街の活性化について)
- 14日 全員協議会
- 17日 上海府地区戦没者合同慰霊祭
- 15日 岩船林業振興祭
- 20日 東京都狛江市議会視察来庁
(庁舎免震工事について)
- 21日 議会広報特別委員会
- 22日 厚生文教常任委員会行政視察 (～24日)
埼玉県桶川市議会視察来庁
(市町村合併について)
- 23日 都市連合戦没者遺族大会
- 25日 県立坂町病院活性化促進大会
- 31日 議会運営委員会行政視察 (～1日)